

## 報告 『自然ふれあい講座』を行いました

平成21年（昨年）度を実施しました「自然ふれあい講座」の後半5回の様子をお知らせします。

### 第6回 水辺の植物たち 参加者 29名

8月23日（日） 10:00～15:00 担当：永井 茂富・北野 聡

場所；軍足池（長野市芋井）

◎身近なため池で生物を観察しました。池に敷設された水路には多くの絶滅危惧種とともに、特定外来生物オオフサモも生育していました。在来種の保全と外来種対策について、参加された方々と共に考えました。

◎魚やトンボも観察し、池で生きる生物のつながりについても学びました。



池の水生生物の観察と説明

主な内容

### 第7回 自然史王国信州を歩く～災害編 参加者 16名

10月18日（日） 9:00～12:00 担当：富樫 均・尾関 雅章

場所；地附山公園（長野市）

◎自然観察の新たな切り口として、地すべり災害の跡地を歩き、長野県の自然環境と地すべり現象との関連や、長野盆地周辺の地形地質の特徴について理解を深めていただきました。

◎地附山観測センターの映像や模型により地すべり災害の対策工を学びました。



地すべり跡地での解説

主な内容

### 第8回 分布を広げるカワウの生態 参加者 32名

11月21日（土） 10:00～12:00 担当：堀田 昌伸・大塚 孝一

場所；犀川河川敷（安曇野市）

◎カワウの休息場所で、羽を休めたり上空を飛ぶカワウを観察しながら、カワウの生態（一日の生活パターン、採食量など）、全国的な生息状況と県内での生息状況について説明をし、カワウが増加する原因について考えました。

◎カモ類も観察し、ハクチョウやカモ類も増えていることを学びました。



カワウやカモ類の観察と説明

主な内容

### 第9回 実感！CO<sub>2</sub>のおもさ(冬編)～あなたが減らせるCO<sub>2</sub> 参加者 25名

1月23日（土） 10:00～12:00 担当：浜田 崇・畑中健一郎・陸 斉

場所；上田創造館（上田市）

◎地球温暖化の主な原因であるCO<sub>2</sub>の排出量を、カバンを使って重さとして実感してもらいました。また、LEDの省エネ効果測定実験などの展示もしました。

◎家庭ごとの電気・ガス・灯油・ガソリン等の使用量からCO<sub>2</sub>排出量を計算し、削減メニューカードとバーコードを使って、各々の省エネ計画を作りました。



省エネ対策をみんなで検討

主な内容

### 第10回 カモシカ観察会 参加者 7名

3月13日（土） 10:00～16:00 担当：岸元 良輔・堀田 昌伸

場所；シラビ平～菅の台（駒ヶ根市）

◎冬の厳しい自然の中で生きるカモシカを観察しました。カモシカの社会（つがいや親子の関係）などについて、ニホンジカと比較しながら説明しました。

◎当日は雨が降る悪天候の観察会となりましたが、全員で、約6kmの道のりを最後まで歩き、山の斜面に目を懲らしてカモシカを探しました。



カモシカの生態などを解説

主な内容

#### ☆参加方法・問い合わせ

本年度も同様に、年12回の自然ふれあい講座を予定しています。参加の申し込み、お問い合わせは、環境保全研究所飯綱庁舎までお気軽にどうぞ

（電話：026 - 239 - 1031 Eメール kanken@pref.nagano.lg.jp）